

# 1. 評価報告概要表

作成日 平成19年11月14日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4071201356		
法人名	有限会社 ナオン		
事業所名	グループホームまふえー		
所在地 (電話番号)	福岡県福岡市西区大字西浦字川フケ1038番1 (電話) 092-809-1239		
評価機関名	株式会社 アトル		
所在地	福岡市博多区半道橋2丁目2番51号		
訪問調査日	平成19年10月26日	評価確定日	平成19年11月28日

【情報提供票より】(19年10月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成	17年	11月	1日
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9	人
職員数	10 人	常勤	5人, 非常勤	5人, 常勤換算

### (2) 建物概要

建物形態	併設 <u>単独</u>	<u>新築</u> / 改築
建物構造	木造造り	
	1階建ての	1階 ~ 1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有( 円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	300 円
	夕食	450 円	おやつ	50 円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	9名	男性	2名	女性	7名
要介護1	2名	要介護2	6名		
要介護3	3名	要介護4	名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均	73歳	最低	60歳	最高
					101歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	吉田内科消化器科
---------	----------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは木造で新築で建てられ、海と山の自然に恵まれそれぞれの幸が食卓を飾り新鮮な美味しい食事が提供されている。地域との交流も深まっており地域の老人介護の拠点として期待されている。職員も離職が少なく利用者と馴染みの関係が出来ており明るく家庭的な雰囲気が感じられる。また、健康管理が24時間受けられることができ安心して生活ができる体制が整っている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>運営理念の明示は具体的な表現と地域密着の特性を掲げて地域に発信することが望ましいが改善が不十分であった。食生活を楽しむ支援は地域の新鮮な食材を生かし、利用者の嗜好も取り入れて美味しい食事が提供されており利用者職員が一緒に食事をしてきた。ヒヤリハット事故報告書は随時記録されていた。家族の意見、要望、苦情の受け入れは24時間代表者へメールで申し出が可能な体制が整えられて利用がなされている。また、利用者の生活状況を家族へ発信するサービスも申し出があれば行っている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>代表者や管理者を中心に他職員からの意見情報を得た上で自己評価の実施がなされている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議には地域の民生員、老人会長、町内会長等に含めて利用者、家族の参加で定期的開催されている。内容もホームのことだけに留まらず地域における情報交換の場になっている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8,9)</p> <p>代表者へメールでの申し出が24時間できる体制を整えている。申し出に関しては速やかな対応ができる様に心掛けておりホーム内のミーティングや運営推進会議で課題を取り上げて対策が検討されている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域との交流や連携も広がりが見られる。特に花火大会は一大イベントとして開催しておりホーム外の参加も考慮して開催し利用者も数ヶ月前から楽しみにしている。また、保育生や中学生との交流も行われており町内会への参加、老人会のカラオケ教室への参加など地域へも出かけている。</p>

## 2. 評価報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくっている	家庭生活の延長と、それにプラスして楽しみや生き甲斐のある生活をおくって頂けるようなサービスの提供を理念に掲げられているが、地域との関係性を取り入れた理念となっていない。		普通の生活と+『の表現を具体的にしたい。また、地域密着のサービス提供事業所としての役割も含めて掲げ、ホームの基本理念や運営理念を地域にわかりやすく発信して頂きたい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員には入職時から理念に触れて研修を行い、理念に基づいた業務が実施できる様にしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	日頃より地域社会に馴染んでいきたいという姿勢が同われる。漁協や農協関係者、老人会、保育園、小中学校との交流など徐々に深まりを増している。ホームの花火大会を一大イベントとして地域の協力参加を得ながら毎年開催し交流を深めている。ホームや介護保険情報を新聞折込みに入れたり介護無料相談も受けている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価を生かして全職員で話し合いを行い、サービスの質の向上につなげている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は町内会、老人会、民生員、家族代表、2~3ヶ月に1度開催している。会議ではホーム内のことに限らず地域での情報交換の場にもなっている。市町村担当者の参加も申し出ているが担当者の都合により不参加の状態が続いている。		今後も市町村担当者もしくは地域包括支援センターへの参加依頼を継続していくことが望まれる。

グループホーム まふえー

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村の担当者への相談・指導の申し出は随時おこなっており、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
7	10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度については、パンフレットを準備しいつでも説明できる体制を整えているが職員全員が説明できるわけではない。		成年後見人制度の説明は代表者や管理者不在のこともあり、職員全員が行える様に研修を行って頂きたい。
4.理念を実践するための体制					
8	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	希望に応じては週に1~2度メールで生活状況を発信している。金銭管理については出納帳を作り家族へ定期的に報告している。また、『まふえー通信』を作成し家族に送付している。		
9	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の他に入所説明時には家族へホーム代表者のメールアドレスを伝えており、直接代表者へ24時間いつでも意見、不満、苦情の申し出ができる様な体制ができており、意見が出た際は運営推進会議等を開催し、意見交換を行い運営に反映させている。		
10	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の退職者は少なく、したがって利用者への影響は最小限である。今後、そのような事態が発生したら担当職員を複数にする等の配慮を行い、家族へも新しい職員の紹介を『まふえー通信』で行うことにしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5.人材の育成と支援</b>					
11	19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	採用に関しては性別や年齢等に関係なく採用している。地域密着という観点から地域の社会性、文化、風習等を知り得ている地元住民からの採用はホームや利用者に対しても有効に作用している。		
12	20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	人権尊重に関しては職員に教育を行ったり 啓発活動に積極的に取り組んでいる。		
13	21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	ケアミーティング時を利用して勉強会を実施したりホーム外の研修にも積極的に参加できるようにしている。		
14	22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	福岡市介護事業者親睦会、情報交換会に参加しており、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
<b>6.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	28	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	家族と相談しながら入居前に訪問を繰り返して馴染みの関係作りから始めている。また、体験入所も実施しており 家族同伴でも対応可能となっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり支えあう関係を築いている</p>	<p>食事に関してはメニュー作りから一緒に相談しており味付け等は利用者から学んだりしている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
17	35	<p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>約3ヶ月に一度「我がままデイ」をつくり、その日は1日利用者個人の思いや希望に応じる様にしている。</p>		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>家族や本人の意向を確認し、また、ホーム生活での課題等も含めてアセスメントを行っているがケアプラン作成には介護ソフトの定型文が引用されており、個別性に欠けている。</p>		<p>個別の具体的な計画になる様、介護ソフトの定型文は極力使用しないことが望まれる。また、家族や本人もケアカンファレンス(担当者会議)に参加して頂いて、一緒になってケアプランの作成が行われる様に計画作成をして頂きたい。</p>
19	39	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>心身状態や意向等の変化に伴って適宜に担当者、代表者、管理者、看護師で検討してケアプランの変更を行なっている。その内容は家族へも報告している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3.多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	看護師による健康管理や通院や入院時の支援、理容師による頭髪のカット。申し出による送迎などそれぞれの職員の知識や技術を生かして対応している。		
<b>4.本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら適切な医療を受けられるように支援している	24時間医師の診察が受けれる体制が整い、日頃より往診が行われて健康状態の把握に努めている。また、利用者や家族の希望により、専門医への受診の送迎支援も行っている。		
22	49	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人や家族の意向により職員の体制や医療との連携を含めて検討して可能な限り受け入れている。本人の痛みや不安等に対して、対応できるかを検討し判断をしている。		
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1.その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
23	52	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報には鍵のかかる場所に保管されている。ホームから発信するもので写真掲載を行う場合には本人、家族の承諾を得ている。		
24	54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	それぞれの居室での生活を大切にしておくようにしておりレクリエーションやカルチャーにも必要以上の参加は強制せず、本人の意思を大切にしている。趣味活動も居室で行える様に支援されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
25	56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	新鮮な海の幸、山の幸をふんだんに取り入れたメニュー作りがなされており、利用者から喜んで頂いている。特に鮮魚料理はかなりの人気メニューになっている。また、食事の準備・片付けも利用者の方と一緒に進められている。		
26	59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の曜日や時間帯は決められておらず、1人で好きな時間にゆっくりと入浴して頂ける様に配慮している。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
27	61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるよう、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	玄関に金魚鉢が設置しており、利用者の方で餌やりや水槽の手入れが行われている。また、居室は自分で掃除して頂けるように掃除機の準備をしている。食事の準備、片付けも自然に利用者から手伝いが行われている。		
28	63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者からの散歩や買物希望は多く、ほぼ毎日出かけている。また、友人へ会いに出かけた！先申し出により支援している。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
29	68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間以外は全く施錠は行なわれておらず、自由に出入りができ、自由な暮らしを支援している。		
30	73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の指導を受けてマニュアルを作成し、昼間だけでなく夜間を設定した避難訓練も実施している。また、地域の消防団や婦人会との連携もとれている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事のカロリー設定を行い、食事摂取量の確認と記録を行い、必要に応じて水分摂取量の把握も行われている。自動販売機設置して利用者の方が自由にジュースの購入ができる様になっている。		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
32	83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	トイレスペースは大小あり、それぞれを機能的な面から使い分けされている。また、ベランダのスペースから屋外の花壇を見たり、小川の様子を窺ったりできる。今後、露天風呂の設置も予定している。		
33	85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前に自宅訪問を行い、利用者の生活環境を見たり、聞いたりし、ホーム内の居室も自宅のイメージになるよう使い慣れた家具等の設置を行っている。また、趣味活動への支援の為に環境を整える配慮がなされている。		